

参加無料

要事前申込

会場参加 オンライン参加

募集定員 各100名

とやま 生物多様性 シンポジウム

～次期地域戦略策定に向けて～

令和3年 12.4(土)

13:00～16:00(開場 12:30)

会場 ボルファートとやま 真珠の間
富山県富山市奥田新町 8-1



第1部 13:10～ 基調講演



世界が振り向く魅力ある
生物多様性とやま戦略を目指そう

藤田 香 日経 BP 日経 ESG 編集シニアエディター
東北大学大学院生命科学研究所教授
富山大学客員教授

富山県魚津市生まれ。東京大学理学部物理学科卒。日経 BP に入社し、「日経エレクトロニクス」記者、「ナショナルジオグラフィック日本版」副編集長、「日経エコロジー」編集委員などを経て、現職。生物多様性や自然資本、持続可能な調達、ビジネスと人権、ESG 投資、SDGs、地方創生などを追っている。著書に『SDGs と ESG 時代の生物多様性：自然資本経営』など。環境省中央環境審議会委員、富山市 SDGs 未来都市戦略委員などを務める。

14:00～ 事例発表

企業における
生物多様性への取組
YKK 株式会社
環境・安全管理部 環境・安全企画室長
村田 康博

生物多様性に
配慮した商品の
物販もあるよ

- ・ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスクの着用や手指消毒などにご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、シンポジウム開催の中止または内容の変更等を行う可能性がありますので、予めご了承ください。

第2部 14:45～

パネル
ディスカッション

富山県の生物多様性
次期戦略に向けて

コーディネーター

和田 直也

富山大学 研究推進機構極東地域研究センター長

パネリスト

酒井 富夫

富山大学名誉教授・富山県有機農業研究会会長

間宮 寿頼

自然博物園ねいの里 係長
農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー

遠藤 博伸

富山県ナチュラリスト協会会長

藤田 香

日経 BP 日経 ESG 編集シニアエディター

村田 康博 YKK 株式会社

富山県

生物多様性 ってなに？



生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性のつながりのことをいいます。

地球上には、森、里、川、海など様々なタイプの自然の中に、それぞれの環境に適応して進化した3,000万種ともいわれる生きものがいて、食べる・食べられる・花粉を運ぶなどといった様々な関係でつながりあい、支えあって生きています。

私たちの生活は、生物多様性のたくさんの恵みの上に成り立っています。

例えば、生き物に不可欠な酸素は植物の光合成により生み出されていますし、食料や薬、衣服などの多くが生きものに由来します。また、生物多様性は私たちの豊かな文化の根源であり、災害の防止等安全な暮らしを支えています。

どうして 生物多様性が 大事なの？



富山県では、富山県生物多様性保全推進プランを策定し、「立山連峰から富山湾まで豊かな自然を未来へ」を理念に、その恵みを将来にわたって享受することのできる、自然と人とが共生する社会の実現を目指しています。

このシンポジウムでは、次期富山県生物多様性地域戦略の策定に向け、富山県の生物多様性の現状と課題を振り返り、この富山の豊かな自然を将来へつないでゆくため、これから私たちが生物多様性の保全・活用にどのように取り組むべきかを考えます。

参加 申込方法

- ①メール、②郵送、③FAX いずれかの方法により、下記様式をご利用いただくか、
- 参加方法（会場参加またはオンライン参加）●郵便番号 ●住所 ●氏名 ●電話番号
 - メールアドレス（オンライン参加の場合）●参加人数をご記入のうえ、お申込みください。

■お問い合わせ・申し込み先

富山県生活環境文化部自然保護課

〒930-0005 富山市新桜町5番3号

（第2富山電気ビルディング6階）

☎(076)444-3396 ☎(076)444-4430

✉ashizenhogo@pref.toyama.lg.jp

会場参加

参加者には、聴講券を郵送します。
①の方にまとめて送付します

オンライン参加

参加者にLIVE配信先URLを
メールにてお送りします。

12月3日12時 **金 必着**

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込み用紙

とやま生物多様性シンポジウム～次期地域戦略に向けて～

会場参加 オンライン参加（いずれかにしてください）

住所	〒	-	
電話番号		メールアドレス (配信用URL 送付用)	
参加者① 氏名		参加者② 氏名	
参加者③ 氏名		参加者④ 氏名	